

高知県名誉県民顕彰

関 勉 氏

事 績 概 要

高 知 県

令和4年5月12日

事 績

関勉氏は、世界有数の天文家として、また指導者として、天文界の第一線で活躍され、令和3年11月、社会教育の振興に関し特に顕著な功績のあった方に対し、文部科学大臣から贈られる社会教育功労者表彰を受賞された。

関氏が発見した多くの彗星や小惑星は子ども達や世界の人々を魅了し、長きにわたる活躍により、ふるさと高知の人々に夢と希望、勇気、感動を与えた。

〔我が国の社会教育の振興への貢献による社会教育功労者表彰の受賞〕

これまでに多くの新彗星や小惑星を発見してきた世界有数の天文家として、また高知県立芸西天文学習館の指導者として、令和3年11月、社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞された。

氏は、昭和25年に自作の望遠鏡で彗星の探索を始め、これまでに6つの新彗星、223の小惑星を発見した。これらの功績からフランス天文学会100周年記念賞をはじめ、数々の賞を受賞するなど、国内外の天文学研究者、天文観測関係者に多大な影響を与えた。

また、平成22年には東亜天文学会の第9代会長に就任し、現在も同会の顧問として精力的に活動されている。

〔新彗星、小惑星の発見〕

氏は昭和25年に彗星の探索を始めて以来、一貫して高知県内を拠点として天体観測を行い、彗星発見等の成果を高知から世界に向けて発信した。

また、発見した小惑星に「高知」や「はりまやばし」「龍馬」等、高知県縁の地名や人名などを数多く命名し、高知県の知名度向上に寄与した。

〔芸西天文学習館講師〕

昭和56年4月、高知県立芸西天文学習館の発足と同時に同館の講師に就任し、天文観測の技術などを子どもから大人まで幅広い世代を指導した。また、同館の講師陣の中心的存在として指導者の育成にも尽力するなど、県民が天文に親しむ機会を提供し続けてきた功績は大きい。



高知県名誉県民証

関 勉 様

あなたが発見した多くの彗星や小惑星は子ども達や世界の
人々を魅了し長きにわたる活躍により高知県民に夢・
希望・勇気・感動を与えた功績に感謝し令和3年度社会
教育功労者表彰の受賞にあたり高知県名誉県民として
永くたたえます

令和4年5月12日

高知県知事 濱田 省司

関勉氏からのメッセージ

皆様こんにちは、このたびは高知県名誉県民証を受賞することになり身に余る光栄と感激しております。

聞くところでは高知県名誉県民は、高知県生まれでは漫画家のやなせたかし氏と日本画家の奥谷博氏、私で3人目ということです。

私は1930年に高知県高知市に生まれました。家は和紙の手漉きなどの製紙業を営んでおり、父母は商売人で家族の中には天文学のような科学を理解する者はいませんでした。また、私自身は生まれつき病弱で小学校の授業には全く興味が持てませんでした。小学校3年生の時に出会った理科の先生の教えが私を惹きつけました。先生は昆虫が得意で、夏休みになると独り四国中央山地に入り、数々の冒険をしながら新しい昆虫の発見に努められました。その精神がそのまま私の心に残り、後の星の発見へとつながっていきました。

私は現在も自身の研究を続けるとともに、芸西天文学習館ではこれから子どもたちに宇宙を教えています。子どもたちが宇宙を学ぶことは広大な精神を養うことにもつながると考えています。これからも生涯未知の星を求め、将来の明るい社会の建設のためにも貢献していきたいと夢を持っております。

ありがとうございました。

令和4年5月12日

関 勉